

令和2年度「香川県県政世論調査結果(速報)」

香川県では、県政の諸問題について、県民の方々の意見や要望等を把握し、今後の施策立案に際しての基礎資料とするため、毎年度「県政世論調査」を実施しています。

今年度は、6テーマについて5～6月に調査を実施しました。「県政の重要度と満足度」については、平成14年度から毎年度実施しています。

◆調査の内容

1. 教育について

次期「香川県教育基本計画」(令和3年度～7年度)の策定に向けての参考とするために、教育に関するご意見をお聞きしました。

2. 障害福祉について

「かがわ障害者プラン」(平成30年度～令和2年度)の見直しを行い、新たな障害者プラン(令和3年度～5年度)の策定に当たり、基礎資料とするために、障害福祉に関するご意見をお聞きしました。

3. 医療機関の適正受診について

県民の不安解消や救急医の負担軽減のため、夜間などの診療時間外において、救急電話相談事業を実施しているが、今後のより効果的な事業実施・運営や患者啓発の参考とし、適正受診の促進につなげるために、医療機関の適正受診に関するご意見をお聞きしました。

4. かがわの自転車条例について

「香川県自転車の安全利用に関する条例」が施行後3年目となることから、本条例で規定のある自転車損害保険等への加入など、自転車の安全利用に関する現在の状況をお聞きしました。

5. ボランティア・NPO活動について

「共助の社会づくり推進指針」に基づくボランティア・NPO活動への支援や県民との協働を推進する施策の参考とするために、ボランティア・NPO活動に関するご意見をお聞きしました。

6. 県政の重要度と満足度について

「新・せとうち田園都市創造計画」の各施策について、「重要度」と「満足度」をお聞きしました。

◆調査の概要

調査地域	香川県全域
調査対象	県内在住の満18歳以上の男女 3千人
抽出方法	選挙人名簿層化二段無作為抽出
調査方法	郵送法
調査期間	令和2年5月12日～6月2日
回収結果	有効回収数 1,751 (有効回収率 58.4%)

※詳しい調査結果は11月に発表する予定です。

※回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、小数第2位を四捨五入しました。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。

◆ウェイトバック集計

平成29年度より、調査結果を県政へ反映させるに当たり、年齢による回収率に差が生じる傾向にあるため、より実態に近い参考値として、ウェイトバック集計の導入を行っています。

ウェイトバック集計とは、実際の本県の「年齢別」人口構成比に合わせて、回収結果を補正するものです。

なお、この調査結果は速報のため、主な調査結果については、ウェイトバックした値は記載していません。調査回答者の属性及び単純集計結果（調査票）については、（ ）書きで併記しています。

$$\text{ウェイト値} = \frac{\text{有効回答数}}{\text{年齢区分別回答数}} \times \frac{\text{年齢区分別人口}}{\text{香川県18歳以上人口}}$$

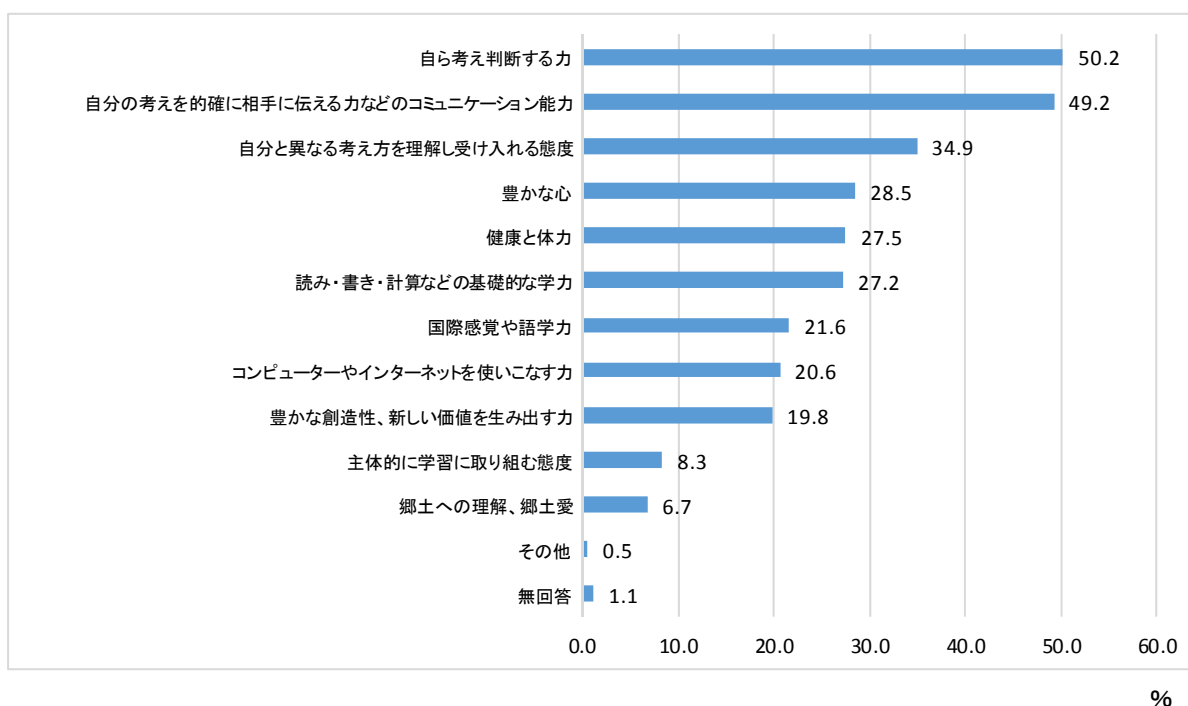
◆主な調査結果

1. 教育について

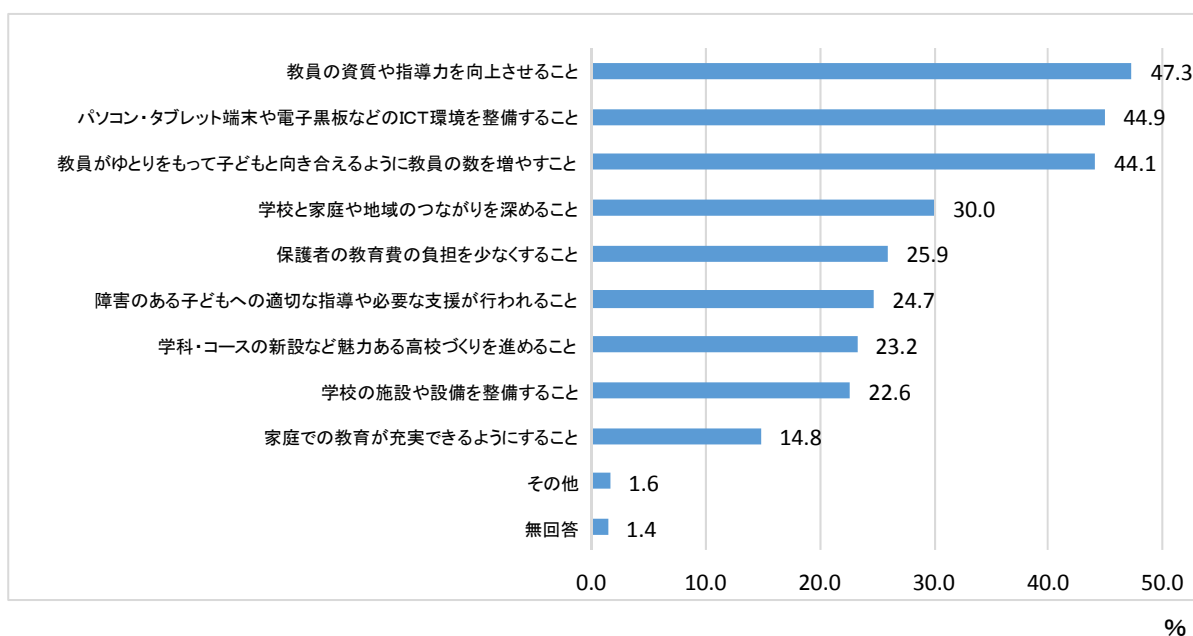
これからの子どもたちに必要だと思う資質・能力について、「自ら考え判断する力」と回答した人が最も多く（50.2%）、続いて「自分の考えを的確に相手に伝える力などのコミュニケーション能力」（49.2%）、「自分と異なる考え方を理解し受け入れる態度」（34.9%）となっている。

また、子どもたちの教育環境で大切だと思うものについて、「教員の資質や指導力を向上させること」と回答した人が最も多く（47.3%）、続いて「パソコン・タブレット端末や電子黒板などのICT環境を整備すること」（44.9%）、「教員がゆとりをもって子どもと向き合えるように教員の数を増やすこと」（44.1%）となっている。

これからの子どもたちに必要だと思う資質・能力（3つまで）



子どもたちの教育環境で大切だと思うもの（3つまで）

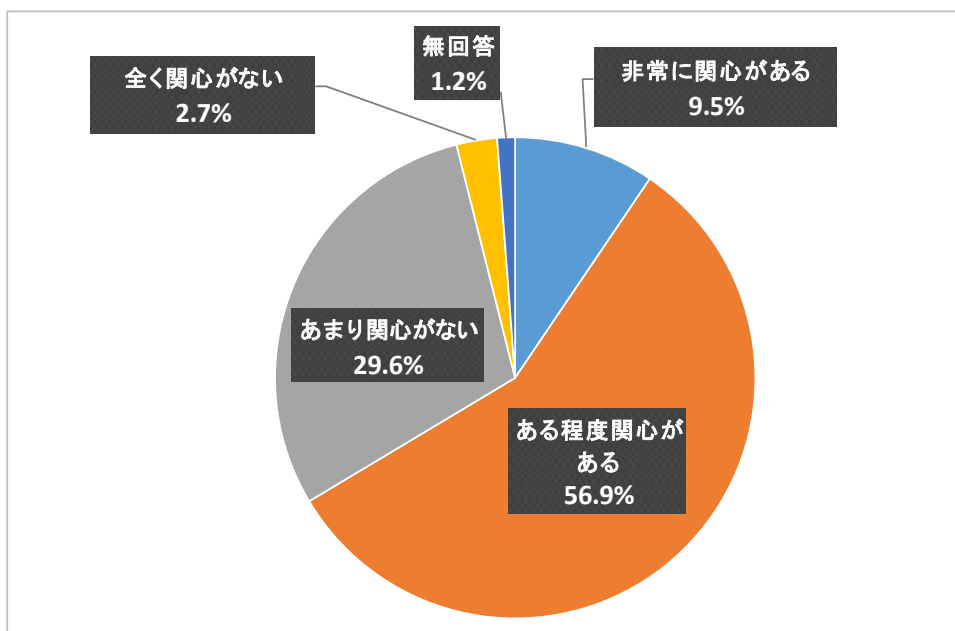


2. 障害福祉について

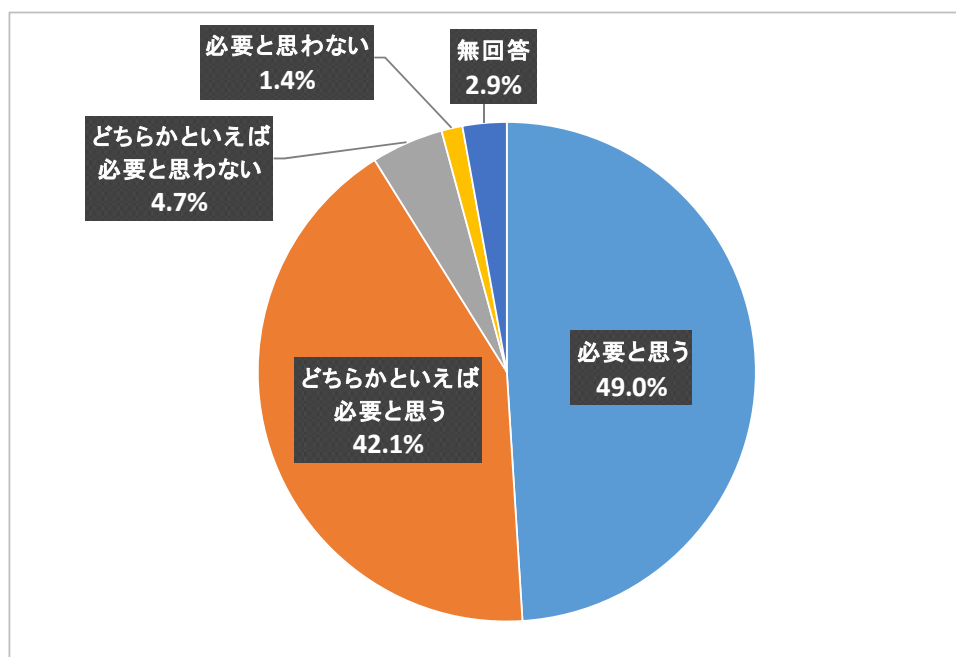
障害者に対する福祉について、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」と回答した人は66.4%となっている。

障害のある方も可能な限り地域において生活できる社会をめざすことについては、91.1%の人が「必要と思う」「どちらかといえば必要と思う」と回答し、そのためには「障害のある方が働く場の確保、充実」や「障害のある方とともに地域で暮らすことに関する住民意識の醸成」などが必要であると回答している。

障害者に対する福祉への関心度について



障害者の地域移行に対する考え

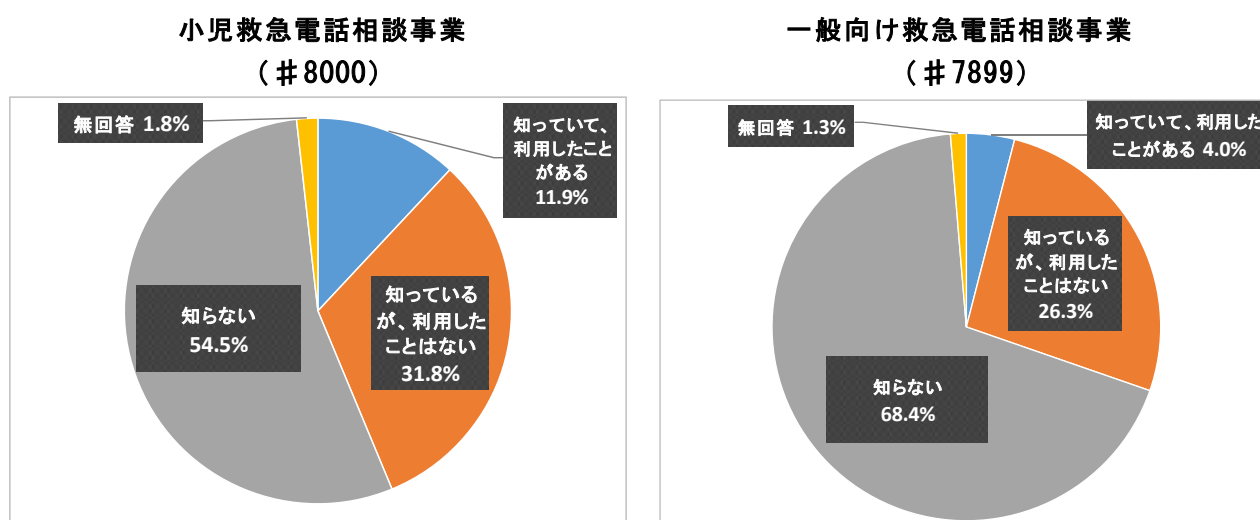


3. 医療機関の適正受診について

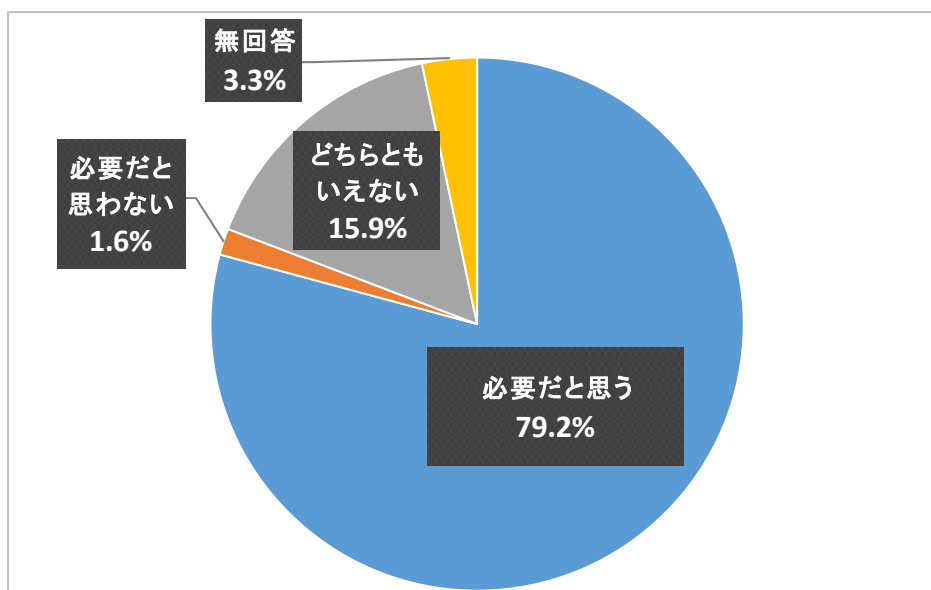
県民の不安解消や救急医の負担軽減のため、夜間などの診療時間外に実施している救急電話相談事業の認知度について、小児救急電話相談（＃8000）では 54.5%、一般向け救急電話相談事業（＃7899）では 68.4%が「知らない」と回答している。

一方で、患者やその家族、救急医療機関の負担軽減を図る当該事業について、約8割が必要を感じているという結果となった。

救急電話相談事業の認知度



救急電話相談事業の必要性

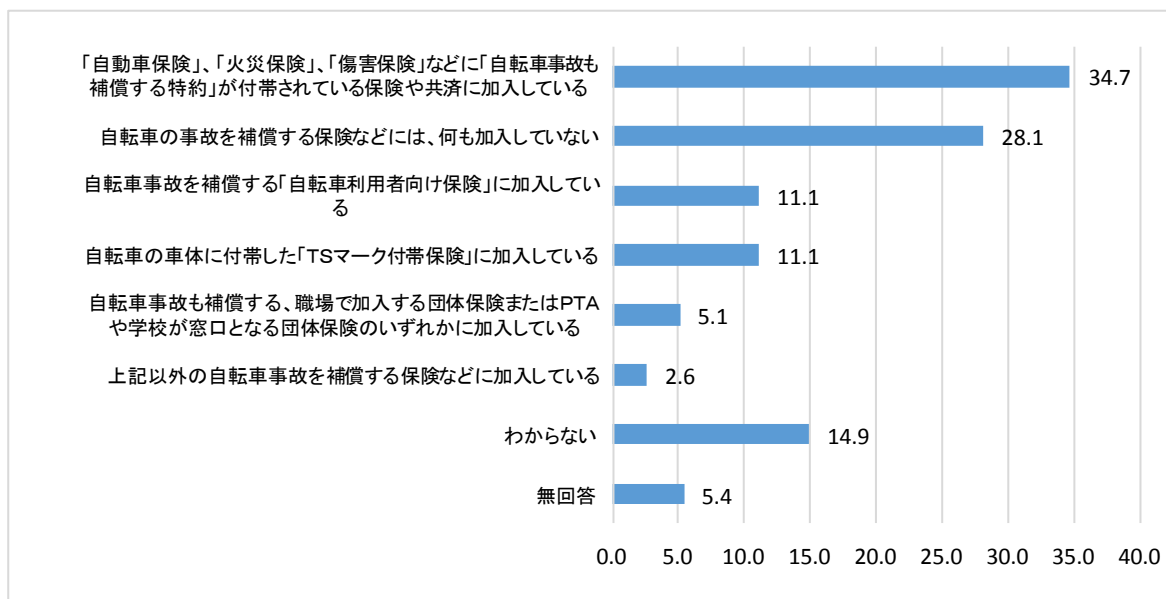


4. かがわの自転車条例について

自転車損害保険等の加入について、「自転車の事故を補償する保険などには、何も加入していない」、「わからない」、「無回答」の合計が48.4%であることから、51.6%は何らかの保険等に加入していると言える。また、加入している保険等は「『自動車保険』などに『自転車事故も補償する特約』が付帯されている保険や共済」が34.7%で最も多い。

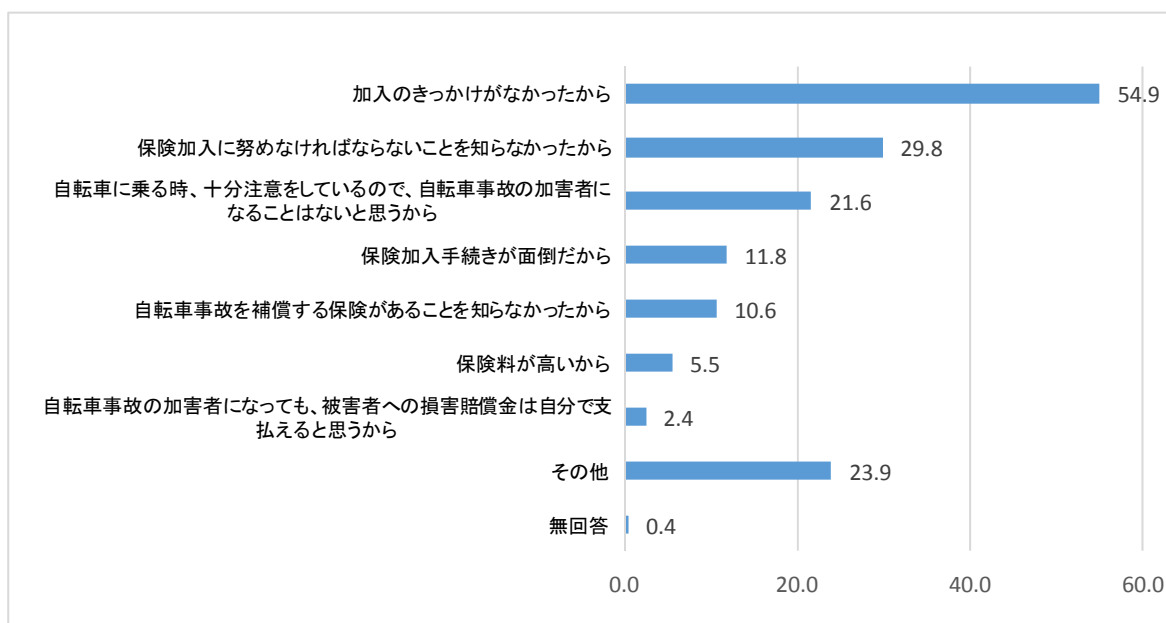
また、加入していない理由としては、「加入のきっかけがなかったから」が54.9%と最も多い。

自転車損害保険等の加入について（あてはまるものすべて）



%

自転車損害保険等に加入していない理由について（3つまで）

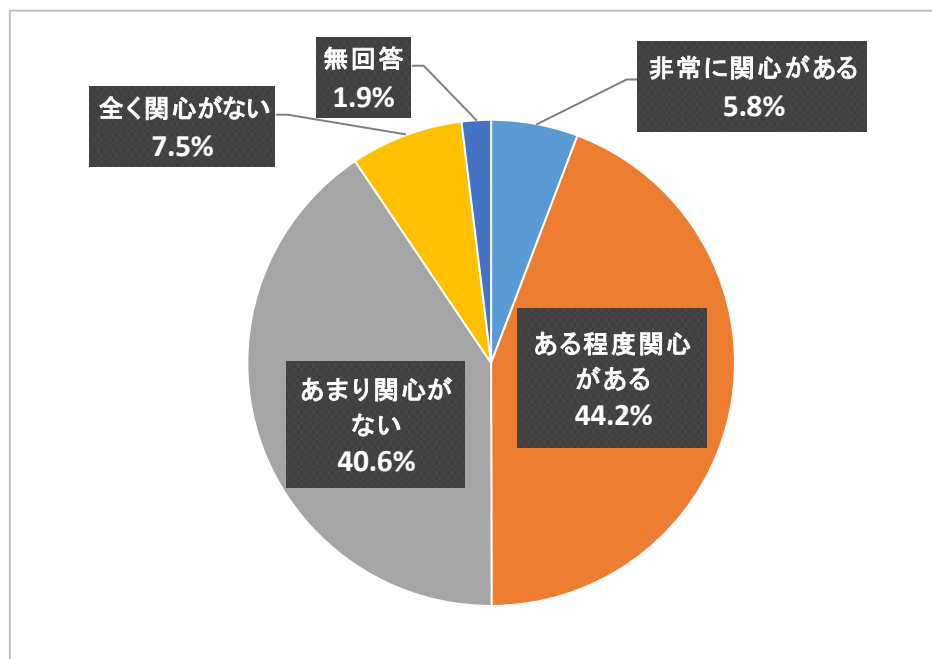


%

5. ボランティア・NPO活動について

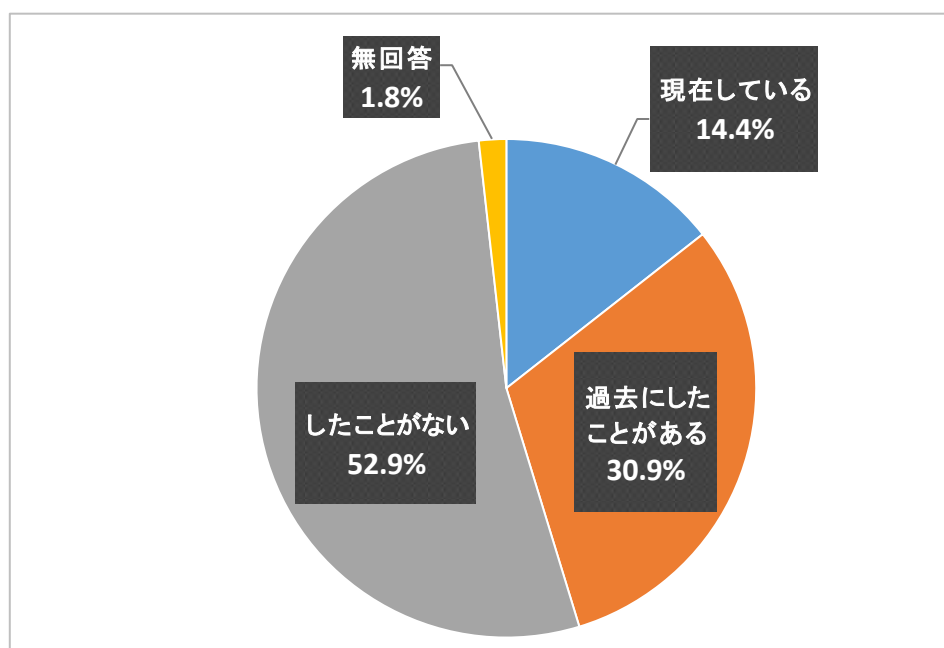
ボランティアやNPO活動への関心の程度について、「ある程度関心がある」が44.2%で最も高く、「非常に関心がある」の5.8%と合わせて50.0%が「関心がある」と答えている。

ボランティアやNPO活動への関心の程度



また、ボランティアやNPO活動の経験の有無について、「したことがない」が52.9%で最も高く、次いで「過去にしたことがある」(30.9%)と「現在している」(14.4%)を合わせた45.3%が「活動経験がある」と答えている。

ボランティアやNPO活動の経験の有無



6. 県政の重要度と満足度について

「新・せとうち田園都市創造計画」の各施策（24分野）について、どのくらい重要と考
えているか、現状にどのくらい満足しているか、それぞれ五段階で評価を聞いた。

重要度について、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた割合は、高い
順に『安心できる医療・介護の充実確保』（88.7%）、『防災・減災社会の構築』（87.3%）、『子
育て支援社会の実現』と『安心して暮らせる水循環社会の確立』（84.5%）、であった。

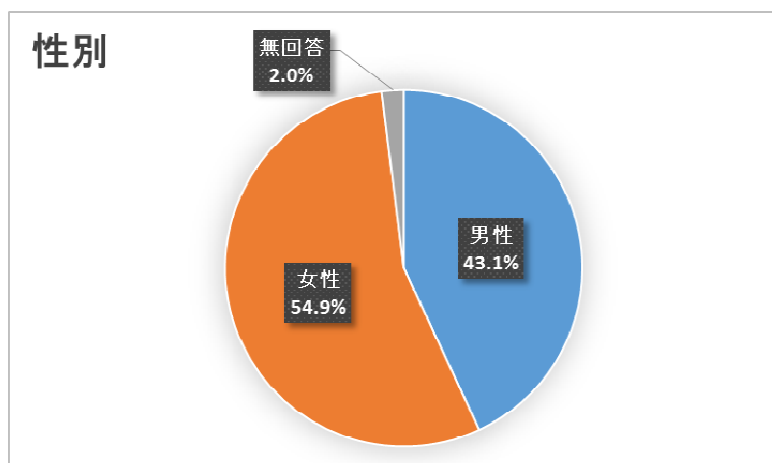
また、満足度について、「とても不満である」と「やや不満である」を合わせた割合は、
高い順に『防災・減災社会の構築』（24.6%）、『雇用対策の推進』（23.5%）、『交通・情報ネ
ットワークの整備』と『安心できる医療・介護の充実確保』（21.1%）であった。

（参考）

「新・せとうち田園都市創造計画」施策体系

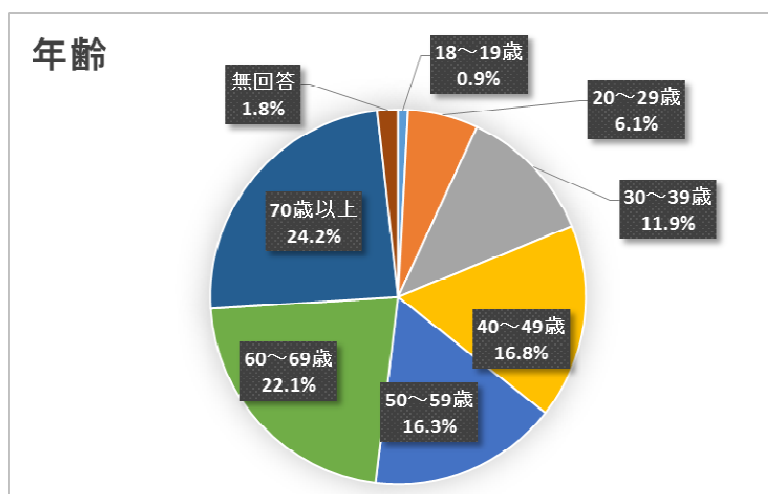
基本 目標	基本 方針	施策（分野）
せ とう ち 田 園 都 市 の 新 た な 創 造	1 成 長 す る 香 川	(1) 商工・サービス業の振興
		(2) 農林水産業の振興
		(3) 県産品の振興
		(4) 雇用対策の推進
		(5) 交流人口の拡大
		(6) 交通・情報ネットワークの整備
		(7) 移住・定住の促進
	2 信 頼 ・ 安 心 の 香 川	(8) 子育て支援社会の実現
		(9) 健康長寿の推進
		(10) 安心できる医療・介護の充実確保
		(11) 地域福祉の推進
		(12) 人権尊重社会の実現
		(13) 防災・減災社会の構築
		(14) 安全・安心な暮らしの形成
		(15) 安心して暮らせる水循環社会の確立
	3 笑 顔 で 暮 ら せ る 香 川	(16) 活力ある地域づくり
		(17) 環境の保全
		(18) みどり豊かな暮らしの創造
		(19) 教育の充実
		(20) 文化芸術による地域の活性化
		(21) スポーツの振興
		(22) 男女共同参画社会の実現
		(23) 青少年の育成と県民の社会参画の推進
		(24) 魅力ある大学づくり

◆調査回答者の属性



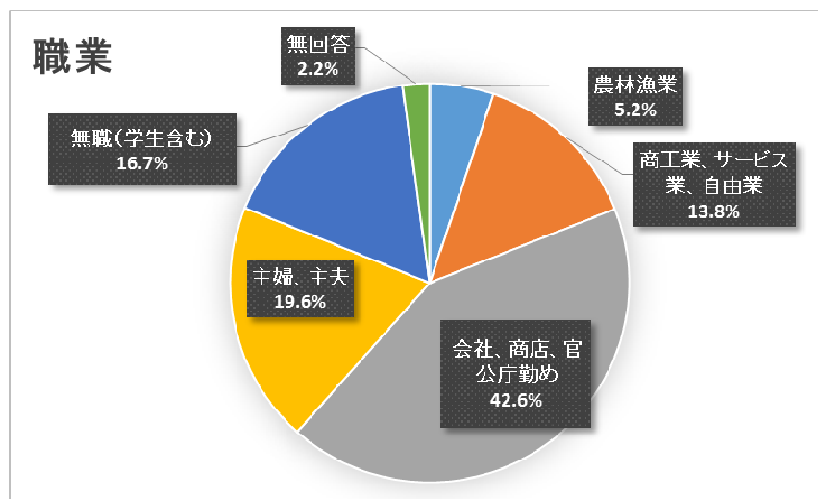
区分	回答者数(人)	構成比(%)
男性	754 (756)	43.1 (43.2)
女性	962 (960)	54.9 (54.8)
無回答	35 (35)	2.0 (2.0)
合計	1751	100.0

※ ()内の数字はウェイトバックした値



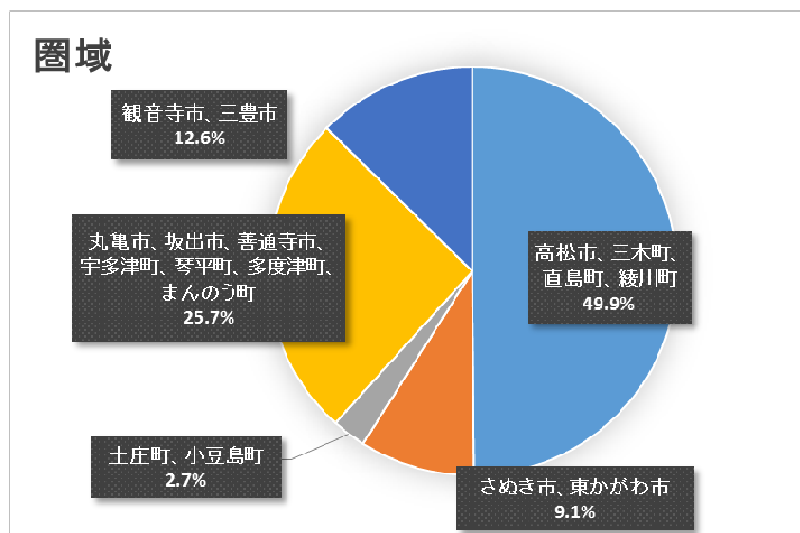
区分	回答者数(人)	構成比(%)
18~19歳	15 (41)	0.9 (2.3)
20~29歳	106 (167)	6.1 (9.5)
30~39歳	209 (210)	11.9 (12.0)
40~49歳	294 (287)	16.8 (16.4)
50~59歳	285 (242)	16.3 (13.8)
60~69歳	387 (281)	22.1 (16.0)
70歳以上	424 (492)	24.2 (28.1)
無回答	31 (31)	1.8 (1.8)
合計	1751	100.0

※ ()内の数字はウェイトバックした値



区分	回答者数(人)	構成比(%)
農林漁業	91 (91)	5.2 (5.2)
商工業、サービス業、自由業	241 (234)	13.8 (13.4)
会社、商店、官公庁勤め	746 (722)	42.6 (41.2)
主婦、主夫	343 (335)	19.6 (19.1)
無職(学生含む)	293 (331)	16.7 (18.9)
無回答	38 (38)	2.2 (2.2)
合計	1751	100.0

※ ()内の数字はウェイトバックした値



区分	回答者数(人)	構成比(%)
高松市、三木町、直島町、綾川町	873 (882)	49.9 (50.4)
さぬき市、東かがわ市	160 (159)	9.1 (9.1)
土庄町、小豆島町	47 (45)	2.7 (2.6)
丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、琴平町、多度津町、まんのう町	450 (451)	25.7 (25.7)
観音寺市、三豊市	221 (215)	12.6 (12.3)
合計	1751	100.0

※ ()内の数字はウェイトバックした値